

編集 後記

今年は例年よりも桜の開花が遅く、ちょうど入学式の時期と重なったところも多かったのではないのでしょうか。新学期、何かと気忙しい時期ですが、初々しく、緊張している新入生の姿を見ると、彼らのモチベーションを下げない教育をしなければと、教員として身の引き締まる思いがします。

さて、第64巻4号をお届けします。本号では論壇1編、原著2編、また公衆衛生活動報告1編に加え、編集委員会からのお知らせを掲載しています。まず、論壇では、わが国の、特に大阪で進められてきた公衆衛生、健康づくりの歩みが「集団医学」というキーワードのもとに描かれています。また、原著については、近年取り上げられることの多い、社会疫学的視点から高齢者の所得格差と残存歯数について記述した1編と、身体活動量を増加させるためにどのようなインセンティブが有効であるかを検討した1編が掲載されています。さらに、健康づくりの重要な人的資源である健康推進員に関して、その組織の課題解決を目指した研修プログラムについて、公衆衛生活動報告としてまとめられています。このように本号では、視点はさまざまですが、健康づくり、というテーマから、とても重要なエビデンスとなる論文が掲載されています。

また、編集委員会からのお知らせでは、編集委員会で検討した支援的査読のあり方や方向性、2016年に投稿された論文についての審査日数と採択率、昨年初めて表彰を実施した優秀論文賞について説明しています。特に、審査日数については、徐々に短縮されており、受付から初回の審査結果までの期間も短縮されている傾向が認められます。採択率の高さや、優秀論文賞などと併せ、論文を投稿する立場からはとても魅力的だと感じます。よりタイムリーで質の高いエビデンスを提供する雑誌となるよう、会員の皆さまには、日頃の研究成果、またさまざまな公衆衛生活動など、ぜひ投稿していただければと思います。
(鈴木孝太)

次号予告 (第64巻・第4号)

原著

地域在住高齢者の社会関連性の20年間推移とコミュニティリソースの影響……………渡邊久美, 他
基本チェックリストと健診データを用いた縦断研究に基づく要支援・要介護リスク評価尺度の開発……………辻 大土, 他
特定健康診査における標準的な質問票の生活習慣項目とメタボリックシンドローム, 高血圧発症との関連: 5年間の追跡調査……………葛谷裕美, 他

資料

視覚障害者における健康診断・がん検診の受診と健康医療情報入手の現状: 点字図書館・視覚障害者団体登録者への調査結果……………八巻知香子, 他